

I 展覧会

(1) 特集展 花の表現、その多様性／特別展示 新収蔵品展	1
(2) 企画展 絵本作家たかいよしかずの Happy World in HIRATSUKA	3
(3) 企画展 生誕110年 工藤甲人展	5
(4) 企画展 平塚・カウナス姉妹都市提携3周年記念展 シュヴェグジュダと湘南の画家たち	7
(5) ロビー展 中嶋明希展 MY GARDEN (仮称)	8

II 教育普及

(1) 令和8年度実施プログラム	9
(2) スクールプログラム	9
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	10
(4) アートカードの貸出	10

III その他の事業

(1) 事業	11
(2) 団体向け研修・体験プログラム	11
(3) 博物館実習生及び職場体験	11
(4) 定例会議	11
(5) 所蔵作品データベースの公開	11
(6) 紀要の発行	11

I 展覧会

(1) 特集展 花の表現、その多様性／特別展示 新収蔵品展

種 別	特集展
会 期	4月18日(土)～8月30日(日) 前期：4月18日(土)～6月28日(日)／後期：6月30日(火)～8月30日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(5月4日、7月20日は開館)、5月7日(木)、7月21日(火)
観 覧 料	一般200円
開催日数	116日
担 当	鈴木美有(当館学芸員)



伊藤彬《優曇華の花びらが散ってゆく》1979年、福田美蘭《紅白芙蓉図》2012年、
深堀隆介《桜升 命名 淡紅》2017年

●内容

花は、その姿かたちや色とりどりの美しさによって古くから愛され、現代まで様々な芸術の主要モチーフに取り上げられてきました。本展では、当館の所蔵作品の中から「花」をモチーフに描いた作品を3章に分けてご紹介します。

1章は「季節の表現」をテーマとし、四季折々の花鳥風月を描いた作品を中心に、作家の身近な風景や普遍的な意味を持つ存在として描き継がれてきた花々をご紹介します。また、山口蓬春の戦前の大作《梅花紅葉》〔当館寄託(国際興業コレクション)〕を修復後初めて展示します。

第2章では「写生から出発した表現」をテーマに、写実的に描かれた作品をはじめ、花のかたちを捉えた上で抽象的、装飾的、幻想的に表現された作品など、真摯な写生をもとにしつつ、作家によって多様な表現で造形化された作品をご覧ください。

第3章は「内なる表現」として、仏教の説話をもとに描かれた伊藤彬《優曇華の花びらが散ってゆく》、平和への祈りが込められた佐々木豊《薔薇爆弾》など、作家の個性や内面にあるものを花に託して表現された作品をご紹介します。

しなやかに咲く花々は今も昔も、人生の様々な場面で私たちの身近に存在しています。本展では、近世から現代の作家たちが、自然や日常の中で花を見つめながら豊かに表現した約60点の作品をご紹介します。また、本展とあわせて、2024・25年度に当館のコレクションに新たに加わった作品の一部を初公開します。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク ※申込不要、要観覧券

日時：4月29日（水・祝）、5月31日（日）、7月26日（日）、8月15日（土）

各日 14：00-14：40

場所：展示室Ⅱ

○バックヤードツアー（神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン特別イベント）

※事前申込制

日時：4月18日（土）14：00-15：00

対象・定員：小学生・15名

○ワークショップ「初夏の花描き」※事前申込制、要観覧券

日時：5月16日（土）時間未定

講師：市川裕司氏（美術家）

場所：展示室Ⅱ、平塚市総合公園

対象・定員：小学校高学年～一般・15名

内容：美術館で展覧会を見学し、屋外で制作を行います。

○ぬいぐるみおとまり会 女子美術大学美術館にお出かけ！ ※事前申込制、要観覧券

お預かり日：6月20日（土）／お迎え日：7月4日（土）ともに15：00-16：00

対象・定員：子ども～一般・10名（1人につき、ぬいぐるみ1体）

○平塚市美術館×女子美術大学美術館スタンプラリー

実施期間：5月22日（金）～8月4日（火）

設置場所：展示室Ⅱ入口周辺

内容：2館でスタンプを押していただくと、神奈川県ゆかりの作家・堀文子の作品の絵柄のポストカードが出来ます。

○対話型鑑賞会「おしゃべり美術館にあ一つま～れ」※事前申込制、要観覧券

日時：未定

内容：鑑賞ボランティア・ひらびあ一つま～れのメンバーと一緒に話ししながら鑑賞します。

(2) 企画展 絵本作家たかいよしかずの Happy World in HIRATSUKA

種 別	企画展
会 期	6月27日(土)～9月6日(日)
主 催	平塚市美術館
協 力	株式会社京田クリエーション
協 賛	神奈川中央交通株式会社、株式会社国土社、株式会社明治
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(7月20日は開館)、7月21日(火)
観 覧 料	一般1000円、高大生500円
開催日数	62日
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)



(C) YOSHIKAZU TAKAI



●内容

平塚市美術館では「絵本作家たかいよしかずの Happy World in HIRATSUKA」を開催します。

大阪府堺市生まれの絵本作家・たかいよしかずは、見た人を元気にする作品づくりをモットーに、「絵本を通して子供たちに、優しい気持ちを伝えたい」と情熱をもって創作活動に取り組んでいます。大阪芸術大学デザイン学科卒業後、株式会社京田クリエーション入社。2001年、2003年、2006年、2011年にはボローニャ国際絵本原画展入選しています。明治「マーブル チョコレート」キャラクターの「マーブルわんちゃん」や牛丼チェーン店「すき家」のキャラクター「すっきー」など、多くのキャラクターデザインを手がけるとともに、イラストレーターとしても活躍しています。主な作品には、『怪談レストラン』シリーズ(童心社)の装丁・挿し絵、『おはなし・くろくま』シリーズ(くもん出版)、『ようかいむら』シリーズ(国土社)などがあります。ポップな色彩で描かれた愛らしいキャラクターの数々。みなさんもきっとどこかで、たかいよしかず作品を目にしていることでしょう。

関東の公立美術館で初となる本展では、活動初期から現在までの絵本原画、立体作品などを一堂にご紹介します。たかいよしかずの多様な魅力に満ちたハッピーワールドを身体全体でお楽しみください。

●関連事業

○来場者プレゼント

日時：6月27日(土)、28日(日) 各日9:30-

場所：展示室I ※先着100名、小学生以下のお子様

○たかいよしかずおはなし会

日時：7月11日(土) 13:00 - 13:45

場所：ミュージアムホール ※申込不要、定員120名

○たかいよしかずアーティストトーク

日時：7月12日（日）13：00 - 13：45

場所：ミュージアムホール ※申込不要、定員120名

○たかいよしかずサイン会

日時：7月11日（土）、12日（日）各日14：00 - 16：00

場所：テーマホール ※先着120名（整理券配布）、美術館で書籍をお買い求めの方に限る

○当館学芸員によるギャラリートーク

日時：7月18日（土）、8月1日（土）、29日（土）各日14：00-14：30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

○バックヤードツアー（神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン特別イベント）

日時：6月30日（火）14：00 - 15：00

場所：展示室、バックヤードほか ※事前申込制、要観覧券

※本事業は神奈川・横浜デスティネーションキャンペーンの特別企画として実施します

○ようかいむらのデジタルスタンプラリー

日時：7月1日（水）～8月30日（日）

場所：市内5ヶ所（美術館を含む）

(3) 企画展 生誕 110 年 工藤甲人展

種 別	企画展
会 期	9 月 19 日 (土)～11 月 23 日 (月・祝)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人朝日新聞文化財団
協 賛	神奈川中央交通株式会社、株式会社葦 (予定)
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (ただし 9 月 21 日、10 月 12 日、11 月 23 日は開館)、9 月 24 日 (木)、10 月 13 日 (火)
観 覧 料	一般 1,000 円、高大生 500 円
開催日数	57 日
担 当	家田奈穂 (当館学芸員)



《愉しき仲間 (二)》1951 年 当館蔵



《蝶の階段》1967 年 当館蔵

●内容

平塚市美術館では、1962 年から平塚にアトリエを構え半世紀にわたり活躍した日本画家・工藤甲人 (くどうこうじん、1915-2011) の生誕 110 年を記念した回顧展を開催いたします。

工藤甲人は青森県弘前市に生まれ、1935 年に上京して川端画学校日本画科に入学し画家としての道を歩み始めます。その後、秋田県出身の日本画家・福田豊四郎に師事し、造形的にも新しい傾向を持つ日本画制作を試みますが、召集されたことで制作が中断。しかし、戦前に萌芽した造形的な実験は、戦後の制作へとつながっていきました。1950 年、日本画の変革を目指した創造美術展で初入選を果たすと、以降、新制作協会日本画部、創画会の中心的な画家として、郷里の自然を題材に新しい日本画の創造に邁進しました。北国の厳しい自然に耐え、春の訪れに歓喜する動植物の生命の輝きに感応する画家の心性と、その内面に醸成された詩情とが混然一体となり、幻想的な光景が画面に立ち現れてきます。夢幻の世界と現実の世界の混交、造形と情感の調和した独自の画境は、戦後の日本画壇に新生面を切り拓きました。

本展では、初期から晩年までの代表作約 60 点により工藤甲人の魅力を紹介するとともに、およそ 60 年にわたる画業を回顧いたします。特筆すべきは、序章として戦前に工藤甲人がともに活動していた新美術人協会の作家たちの作品を紹介することです。工藤甲人の最初期にあたる戦前の作品は失われてしまいましたが、その作品写真のほか、同じ新美術人協会で活動していた福田豊四郎、吉岡堅二、堀文子、酒井亜人ら、当時の新しい傾向を持つ日本画を展示することで、戦前から戦後にかけての造形的な作品の連続性を示しつつ、甲人が制作において目指したものを浮かび上がらせます。美術館での回顧展としては 2007 年に画家の郷里である青森県で開催されて以来 19 年振り、神奈川県内では 1991 年に当館で開催して以来 35 年振りとなる本格的な展覧会です。画家の詩的感受性と美しい色彩の妙をお楽しみください。

●関連事業

○講演会

講師：菅野晶氏（青森県立美術館美術統括監）

日時：10月4日（日）13:30～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着100名

○対談 工藤甲人先生の思い出（仮）

日時：会期中の土日のうち1日 14:00～15:00

講師：斉藤典彦氏（日本画家、東京藝術大学名誉教授）

聞き手：当館学芸員

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着100名

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月17日（土）、11月14日（土） 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

(4) 企画展 平塚・カウナス姉妹都市提携3周年記念展

シュヴェグジュダと湘南の画家たち

種 別	企画展
会 期	9月26日(土)～11月23日(月・祝)
主 催	平塚市美術館
後 援	リトアニア大使館(仮)
助 成	カメイ社会教育振興財団・鹿島美術財団(申請予定)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(10月12日、11月23日は開館)、10月13日(火)
観 覧 料	一般500円、高大生300円
開催日数	51日
担 当	勝山滋(当館館長代理)



《Self-portrait》1985年



《Wood. II》1990年



《Fall Meditation XI》1993年

●内容

平塚市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン交流をきっかけとし、カウナス市(Kaunas:リトアニア共和国)と2023年に姉妹都市提携を行いました。

本展では平塚・カウナスの姉妹都市提携3年を記念し、アルギマンタス・シュヴェグジュダ: Algimantas Švėgžda と湘南の画家たちの作品を紹介します。シュヴェグジュダ(1941年ケルメ市(Kelme, リトアニア)生まれ-1996年ベルリンにて没)はリトアニアを代表する現代作家で、カウナスに多くの作品が収蔵されています。首都ヴィリニユスのヴィリニユス芸術アカデミーを卒業後、同アカデミーで教鞭をとり、リトアニア国内のほかベルリン市、ライプツィヒ市(旧・東ドイツ)、ローマ市など内外での個展によって展示活動を行い、1982年より治療のためドイツに転じました。

その画業は、前期(リトアニア在任期)、後期(ドイツ在任期)に分けられ、欧米の現代的な表現の影響を受けた作風を展開するとともに、新たな美術思潮であるフォトリアリズム(スーパーリアリズム)をリトアニア国内に紹介したことで知られ、後期作品では日常生活で目にした身近な自然へあたたかなまなざしを向け、東洋の哲学や思想、文化に目を向け傾倒するとともに対象をじっくり観察し精緻に表現しています。

本展ではこれまで日本で紹介されてこなかったシュヴェグジュダ作品を初公開し、その魅力の一端を探るとともに、東洋文化や写実表現に同様の問題意識をもった湘南の作家たち-岸田劉生(1891年東京生まれ-1929年徳山にて没)、鳥海青児(1902年平塚市生まれ-1972年東京にて没)、井上三綱(1899年福岡県生まれ-1981年小田原市にて没)ら-の作品を一堂に紹介し、シュヴェグジュダが描いた哲学的な絵画と日本的感覚との相違を探ります。

●関連事業

○会期中、シュヴェグジュダに関連した講演会、ギャラリートーク、関連ワークショップ等を行います。

(5) ロビー展 中嶋明希展 MY GARDEN

種 別	ロビー展
会 期	9月15日(火)～12月27日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人 朝日新聞文化財団
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日(9月21日、10月12日、11月23日は開館)、9月24日(水)、10月13日(火)、11月24日(火)
観 覧 料	無料
開催日数	90日
担 当	江口恒明(当館学芸員)、鈴木美有(当館学芸員)



《かおをあわせる》2015年

《めをつける3》2016年



《むらがる》2017年

●内容

2026年度平塚市美術館ロビー展として「中嶋明希展 MY GARDEN」を開催します。

工芸家・中嶋明希(なかじまあき)は1979年長野県安曇野市生まれ。東京藝術大学在学中、2002年に平山郁夫賞を受賞するなど才能をみせ、2005年東京藝術大学美術学部工芸科卒。卒業制作がサロン・ド・プランタン賞を受賞。同大学院で工芸専攻(鍛金研究分野)を修了ののち、助手(2012-2015)、非常勤講師(2015-2018)を務めました。

同校在学中から各地のグループ展、大学院修了後は個展、グループ展をはじめ文化財の修復、再現プロジェクトへの参加など多彩な活躍を見せ、2017年には第33回公益財団法人美術工芸振興佐藤基金淡水翁賞最優秀賞を受賞しています。

中嶋作品の着想源は、湯河原の自宅の庭。ずっと眺めると木の実や葉のかたちが鳥の頭や青虫のように見え、自然界に見える変化と多様性、さらにそこから抽出された普遍的なかたちや性質といった自然の様相を銅や鉄で表現していきます。

当館のロビー展は、陽光のそそぐ広いテーマホールを舞台として、冬から春にかけて観覧無料で開催される展覧会で、窓からは植栽の庭が作品と響応する空間がひろがります。

また本展は公立美術館初の中嶋明希の個展であり、新作を含めた鉄や銅による《MY GARDEN》シリーズを一堂に展示しその特質を探るとともに、その世界観と広いテーマホールの大気や空気感のなかで表される伸びやかな造形を紹介します。

●関連事業

○アーティストトーク

9月19日(土)、11月21日(土) 14:00～14:40 テーマホール

○このほか作家によるワークショップを予定

II 教育普及

(1) 令和8年度実施プログラム

15プログラムを実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	バックヤードツアー：展示室を作ってみよう	当館学芸員	4月18日(土)	未定	小学生	—
2	花の表現展開連ワークショップ：初夏の花描き	市川裕司(美術家)	5月中旬	未定	子ども～一般	—
3	キッズあつまれ★アトリエかいほうび	当館学芸員	5月5日(火・祝)	未定	親子(3～5歳)	—
4	キラキラ気球に乗って！	hoppe(造形教室主宰)	5月5日(火・祝)	未定	親子(3～5歳)	—
5	キッズアート	富田めぐみ※	5月	未定	親子(2～4歳)	—
6	版画講座：板目木版多色刷り・暑中見舞いをつくろう	城戸宏(版画家)	6月	未定	小学4年生～一般	—
7	バックヤードツアー	当館学芸員	6月30日(火)	未定	一般	—
8	キッズアート	富田めぐみ※	7月	未定	親子(2～4歳)	—
9	美術館であそぼ	hoppe(造形教室主宰)	8月8日(土)～9日(日)	未定	子ども～一般	—
10	美術館であそぼ	横井山泰(画家)	8月8日(土)～9日(日)	未定	子ども～一般	—
11	美術館であそぼ	ナチュラルナノ研究グループ	8月8日(土)～9日(日)	未定	子ども～一般	—
12	美術館であそぼ(中高生ボランティアのワークショップ)	中高生ボランティア	8月8日(土)～9日(日)	無料	子ども～一般	—
13	美術館であそぼ(おしゃべり美術館)	ひらびあーつま～れ(鑑賞ボランティア)	8月8日(土)～9日(日)	無料	子ども～一般	—
14	アートセラピー・パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	8月下旬	未定	小・中学生と保護者	—
15	赤ちゃんアート	富田めぐみ※	9月	未定	親子(1～2歳)	—

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

●番号9～13は、8月9日(土)、9日(日)に実施する夏のワークショップイベント「美術館であそぼ」のプログラムです。

(2) スクールプログラム

児童・生徒向けプログラム 1プログラムを実施予定 ※依頼を受け次第実施

教員向けプログラム 2プログラムを予定 ※依頼を受け次第実施

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	教員向け対話による美術鑑賞体験会	当館学芸員	7月24日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	未定
2	教員向け実技講座：羊毛フェルト講座	今野恵(フェルト作家)	8月21日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	未定

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
3	中高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	8月1日(土)、8日(土)～9日(日)	中高生	未定

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

対話による美術鑑賞授業 令和8年4月に希望校を募集し依頼を受け次第実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	学校実施日 (事前授業日)	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
	未定						

事前授業のみの授業も実施します。授業の実施はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当します。

● ボランティア育成のための研修等を実施します。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)11期生の育成、及び新規加入の12期生20名程度の育成を実施予定です。また、12期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびあcaféを実施します。

7プログラムを実施予定

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	11期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月11日(土)	未定
2	11期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月25日(土)	未定
3	11期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	5月9日(土)	未定
4	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	5月下旬	未定
5	11期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	6月6日(土)	未定
6	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	6月下旬	未定
7	11期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	7月18日(土)	未定

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行います。

Ⅲ その他の事業

(1) 事業

- ミュージアムコンサート（クローズイベント）

例年どおり実施する予定です。

- 第49回平塚市展

例年どおり実施する予定です。

(2) 団体向け研修・体験プログラム

要望があれば実施してまいります。

(3) 博物館実習生及び職場体験

- 博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生を受け入れ、6月から12月まで実習を実施する予定です。

- 中学生職場体験及び高校生等の受け入れ。

要望があれば実施してまいります。

(4) 定例会議

- 美術館協議会

・第1回協議会を令和8年8月に、第2回協議会を令和9年3月に開催する予定です。

- 美術品選定評価委員会

・令和8年度も例年どおり開催する予定です。

(5) 所蔵作品データベースの公開

WEB上に公開している所蔵作品のデータベースについて、今後も画像データを充実させてまいります。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

(6) 紀要の発行

今後も編集・発行する予定です。